


 草原とともにある暮らし



橋本隆男（ハシモトタカオ）

日本一広い草原

阿蘇の野草地は、面積約 15000 ヘクタール。世界最大級のカルデラ地形の上に広がっています。これは、放牧、採草、野焼きなどの人手が加わることで守られてきた二次草原です。阿蘇の草原は、日本が世界に誇れる、自然と人間の共生の産物です。

4
 月
 2007

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29 昭和の日	30 振替休日					





生物の貴重な棲か



長野良市（ナガノリョウイチ）

動植物の保護

放牧地によく見られるクララ。このクララを食草とするオオルリシジミは絶滅が危惧されています。阿蘇の草原には多くの希少種が生息・生育しており、草原を守ることは、これら動植物の保護にもつながります。

5月
2007

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

阿蘇の草原再生事業のご紹介 2 GISによる植生分析



草原の現状や変化についての情報は、草原再生事業の基盤となる重要なデータです。これまで広大な草原全域の調査は大変な労力を伴うものでしたが、航空写真や人工衛星のデータをコンピュータで画像処理することにより、広範な草原の様子を一度に把握できるようになりました。環境省では、このGIS（地理情報システム）を使った草原の植生分析を進めています。